

令和4年2月15日

九重町長 日野 康志 殿

九重町第5次総合計画策定審議会
委員長 佐藤 テイ子

九重町第5次総合計画（案）について（答申）

令和3年10月19日付九企第702号で諮問のありました九重町第5次総合計画（案）について、下記のとおり答申します。

記

九重町第5次総合計画は、審議会及び専門部会の意見に加え、住民・中学生アンケート等住民ニーズの把握に努めながら今後10年間の九重町のまちづくりの方針等を定めた内容となっており、最上位計画として全体を網羅した計画書になっていると評価します。

今後は、住民に対して計画書の内容を適切に周知し、住民と行政が一体となり、これまで大切に引き継がれてきた「豊かなところ」や「癒やしの自然」を次世代に繋ぐことのできるまちづくりの実現に向け、次の事項に配慮し、各施策を実施していただくよう要望します。

- 1 あらゆる分野の施策等を網羅する計画であることから、分野別体系となっておりますが、事業実施に際しては、これから重要度が増す「共生社会」を意識し、課題解決のため分野横断的に事業に取り組まれない。
- 2 本計画では、若い世代の意見を取り入れ策定を行っていることから、バトンを受取る（次代を担う）学生や子どもが見ても分かるような計画書を作成されたい。
- 3 本計画の推進にあたっては、社会情勢の変化や住民ニーズを的確に把握するとともに外部有識者等による事業の評価・検証及び意見聴取等を行い、時代に即した柔軟な事業展開に努め、必要に応じて計画の見直しを図られたい。

以上